

コンサートレポート

カノン ていあらアンサンブル江東第1回定期演奏会



2016年11月27日(日) 亀戸文化センター大研修室で開催しました。経費節減のため、会場利用開始時刻朝9時から楽器の搬入、客席椅子の搬出と整列を全員で行いました。午前中にグネプロから昼食、午後1時に開場、どうにかほぼ満席100席がうまり、13:30から、第一部「クラシックと映画音楽」、第二部「歌は力、楽器

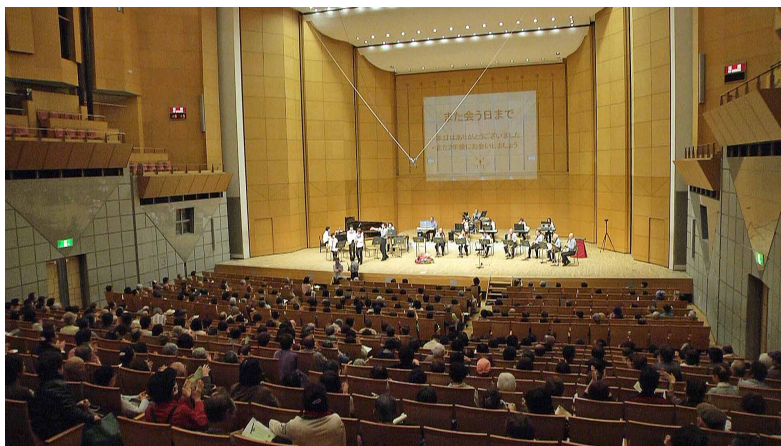
は歌う」の2部構成の演奏会が始まりました。第一部は、「カノン」、「ラバーズコンチェルト」他5曲、第二部は、「あの素晴らしい愛をもう一度」、「芭蕉布」他7曲の全16曲を演奏しました。曲毎の演奏前に五十嵐淳先生は曲について解説をしました。この解説は客席の方々から好評で、未熟な演奏を大いにカバーしたことでしょう。終了後、亀戸駅前の居酒屋で打ち上げ、疲労回復をしました。2014年暮れの発足以来、現在19名の団員となり、偶数の日曜日、第一大島小学校で月2回、練習に励んでいます。今秋の全国大会、来秋の第2回定期演奏会へ向け、団員は楽しみながら新譜に挑戦しています。

レポート： ていあらアンサンブル江東 森田徹郎

出演者の努力に拍手！ アンサンブル・ポニーかつしか第10回定期演奏会

4月15日、かつしかモーツァルト大ホールで第10回定演が催された。このホールは全シ連が第10回全国大会を開催した懐かしいホールである。ポニーは以前は小ホールを使用してきたが最近は大ホールに移し、団員も新しい人が多くなっている。若返りながら成長している印象である。 本日は1階席800人収容が満席の入り。出演者も熱が入る。第一部のヨハンシュトラウスにまつわる7曲は葛飾区がウィーンと姉妹都市という関係で選曲したそうだが、ラデッキーや美しく青きドナウなど五十嵐先生の軽妙な語りもあり、お客様に喜ばれていた。第2部はSE得意のおもてなしの部。団員がリクエストしたというが、アンコールの2曲を入れて気持ちうきうきするような12曲であった。特にマリンバ独奏のチャルダッシュを中心に、終わりになるにつれて盛り上がり目頭が熱くなった。出演者の努力に拍手！

(全シ連 岡村記)



本番に強い！ 石岡シニアアンサンブル発足記念演奏会

4月16日、天候穏やかな日に石岡シニアアンサンブル発足記念コンサートが石岡国府地区公民館2階ホールで催されました。賛助出演は取手シニアアンサンブル、収容人数は100人ですが、プログラムは105部配られました。お客様の入りは申し分ないのではないのでしょうか。



石岡SEのリハーサルが始まりました。音が合いません、これで、本番は大丈夫なのだろうか？と団員の皆さまが、全員思ったということです。時間も限られているため、リハーサル終了。菅先生がおっしゃるには「あと2時間位リハーサルを致したい」とのお言葉でした。いよいよ時間も迫ってきて演奏開始です。ところがどうでしょう！本番の演奏が始まりましたら午前中の演奏とは段違い。素晴らしいのです。曲が終わるごとに、お客様の拍手喝采です。「四季の調べ」から始まり「瀬戸の花嫁」まで11曲、素敵な音色を奏でました。石岡SEは本番に強いシニアアンサンブルと申し上げても良いでしょう！

取手SE 宮崎 正